



# たよれーる どこでもキャビネット

---

ご利用の手引き

User's Guide

Windowsクライアント版アプリ

2023年4月版

<https://dococab.tayoreru.com/>

# 目次

サービス内容 .....	2
どこでもキャビネットとは .....	2
Windows クライアント版アプリの概要 .....	2
お問い合わせ窓口 .....	2
インストール／アンインストール .....	3
インストールする .....	3
アカウントを設定する .....	5
アンインストールする .....	10
基本操作 .....	11
キャビネット・フォルダーの種類 .....	11
操作処理のアップロード状況 .....	12
ファイルを参照する .....	13
ファイルをアップロードする .....	14
ファイルをダウンロードする .....	17
ファイル内容の変更 .....	19
ファイルを削除する .....	23
ごみ箱からデータを取り出す .....	24
ごみ箱からデータをダウンロードする .....	25
変更履歴を確認する .....	28
知っておくと便利な機能 .....	30
どこでもキャビネットアイコンでできること .....	30

- ・本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ・本書の内容の複製または改変などを当社の許可なく行うことは禁止されています。
- ・本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- ・本書で取り上げたソフトウェアの変更、ホームページの構成・デザイン・内容の変更、それに伴って発生する損失、逸失利益に関し、当社はいかなる責任も負いかねます。
- ・本書に記載されている社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・本書は、Windows10 の環境下で作成しています。OS によって、動作や画面の一部が異なる場合がありますのでご了承ください。

## 注意: 本書について

本書は 2023 年 4 月時点での情報を元に作成しています。  
会員サイトから、最新の「ご利用の手引き」をダウンロードできます。

<https://dococab.tayoreru.com/>

## サービス内容

### どこでもキャビネットとは

どこでもキャビネットは、社内・社外で使用するさまざまなファイルを、どこでもキャビネットサーバーを介してデータ共有できるサービスです。どこでもキャビネットの登録ユーザーは、インターネットにアクセス可能な環境から、いつでもどこからでも、どこでもキャビネットサーバー上のファイルにアクセスすることができます。

### Windows クライアント版アプリの概要

Windows クライアント版アプリをインストールすると、どこでもキャビネットサーバーと同期させたパソコン内のフォルダーを使用して、どこでもキャビネットのデータに対し参照や更新を実行したり、パソコン内のファイルをどこでもキャビネットへ登録したりできるようになります。ファイルの登録は、簡単なドラッグ&ドロップ操作で可能です。

### お問い合わせ窓口

サービスに関するご質問は、フリーダイヤルでのサポートの他、ホームページからも受け付けております。

#### ■ 電話・FAX でのお問い合わせ

フリーダイヤルにて受け付けております。FAX のみ、24 時間受け付けます。  
フリーダイヤルの番号につきましては、サービスご利用開始時のご案内をご確認ください。  
ご不明な場合は、下記ホームページからお問い合わせください。

受付時間 平日 9:00～18:00(土日祝日、年末年始、弊社休業日を除く)

※対応時間終了後に受け付けたお問い合わせは、翌営業日以降の対応となります。

#### ■ ホームページからのお問い合わせ

お客様専用フォームからお問い合わせください。

<https://mypage.otsuka-shokai.co.jp/fdococab>

対応時間 平日 9:00～18:00(土日祝日、年末年始、弊社休業日を除く)

※対応時間終了後に受け付けたお問い合わせは、翌営業日以降の対応となります。



#### 注意:お問い合わせの前に

会員サイトでは、お客様からのお問い合わせが多い質問とその回答を掲載しております。  
お問い合わせの前には是非ご確認ください。

<https://dococab.tayoreru.com/>

# インストール／アンインストール

ここでは、Windows クライアント版アプリのインストールおよびアンインストールの手順を説明します。

## インストールする

会員サイトから、Windows クライアント版アプリをダウンロードし、インストールを行います。

### 注意

他のアプリケーションで編集集中のファイルがあれば、すべて閉じてから実施してください。



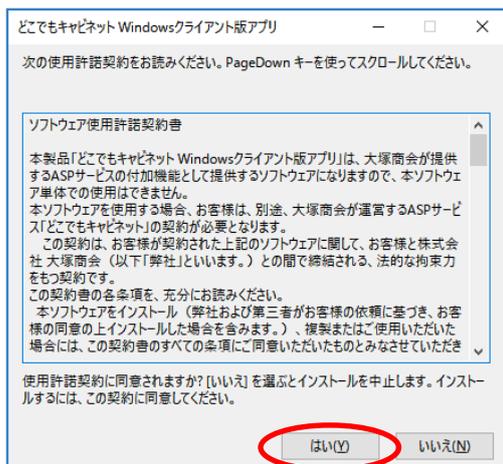
1 会員サイト(<https://dococab.tayoreru.com/>)にアクセスし、アプリダウンロードから「Windows クライアント版アプリ ダウンロード」をクリックします。



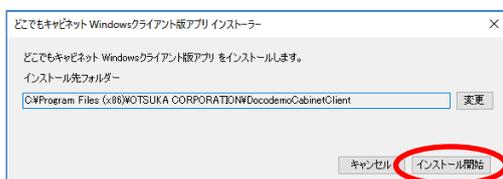
2 ページ最下部の、「ダウンロード」をクリックし、任意の場所に保存します。保存したファイルをダブルクリックします。

### 注意

OS の管理者権限がないアカウントでインストールする場合、管理者のパスワード入力が必要になります。

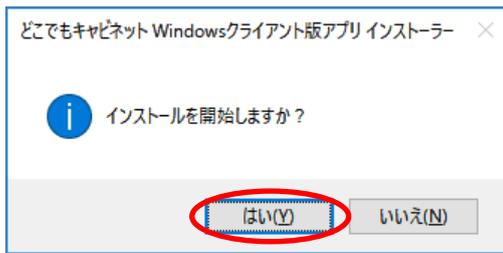


3 ソフトウェア使用許諾契約書を確認し、「はい」ボタンをクリックします。

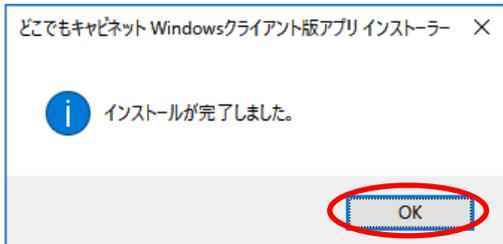


4 「インストール開始」ボタンをクリックします。

インストール先 フォルダー	Windows クライアント版アプリをインストールするフォルダーを指定します。
------------------	---



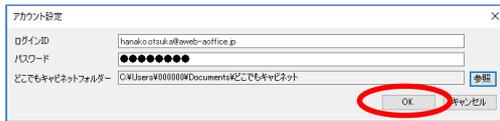
5 「はい」ボタンをクリックします。



6 「OK」ボタンをクリックします。

## アカウントを設定する

Windows クライアント版アプリで使用する、どこでもキャビネットのユーザーID とパスワード、どこでもキャビネットと同期させるパソコン内のフォルダーを設定します。



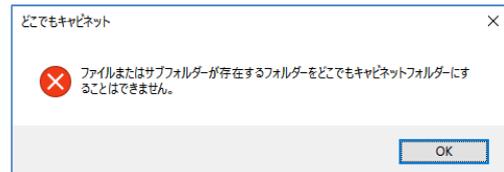
### 1 必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

ログイン ID	管理者から割り当てられたログイン ID を入力します。
パスワード	管理者から割り当てられたパスワードを入力します。
どこでもキャビネットフォルダー	どこでもキャビネットと同期させるフォルダー名を指定します。

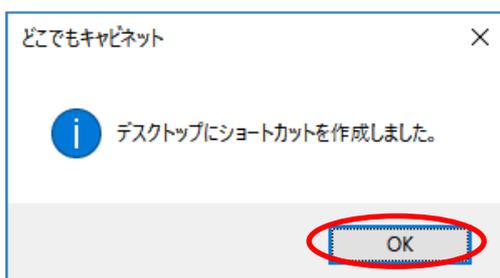
#### 💡 ヒント

指定したフォルダーが空でない場合、「ファイルまたはサブフォルダーが存在するフォルダーをどこでもキャビネットフォルダーに指定することはできません。」のエラーが表示されます。

新しく別のフォルダーを作成して、そちらを指定してください。



### 2 「はい」ボタンをクリックします。



### 3 「OK」ボタンをクリックします。

#### 👉 ポイント

タスクバーに、どこでもキャビネットアイコンが表示されるようになります。

※どこでもキャビネットのアイコン 

#### 👉 ポイント

Windows クライアント版アプリは、Windows のスタートアップに登録されるので、アプリケーションを起動する必要はありません。

**注意: アカウント設定画面が自動的に表示されない、またはアカウントを追加設定する場合**

どこでもキャビネットアイコンを右クリックし、「アカウント設定」から「アカウント追加」を選択してください。  
 ※アカウント設定→「どこでもキャビネットアイコンでできること」(P.30)

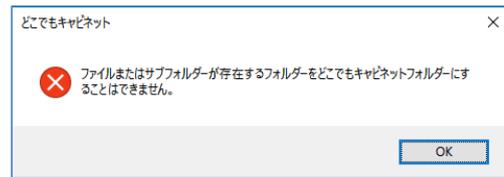
**1 必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックします。**

ログイン ID	管理者から割り当てられたログイン ID を入力します。
パスワード	管理者から割り当てられたパスワードを入力します。
どこでもキャビネットフォルダー	どこでもキャビネットと同期させるフォルダー名を指定します。

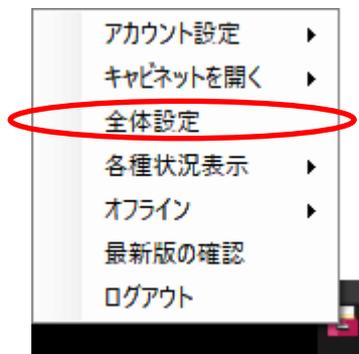
**ヒント**

指定したフォルダーが空でない場合、「ファイルまたはサブフォルダーが存在するフォルダーをどこでもキャビネットフォルダーに指定することはできません。」のエラーが表示されます。

新しく別のフォルダーを作成して、そちらを指定してください。

**プロキシ認証が必要な場合**

認証が必要なプロキシサーバー経由でどこでもキャビネットにアクセスする場合、あらかじめ、認証用のアカウントとパスワードを設定する必要があります。

**1 タスクバーのどこでもキャビネットアイコンを右クリックし、「全体設定」を選択します。**

全体設定画面が表示されます。

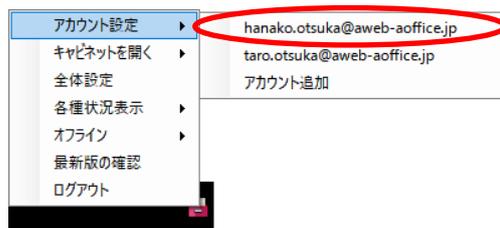


- 2 「プロキシ設定」タブをクリックします。  
必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

プロキシサーバ	プロキシサーバを設定するかどうか選択します。 「個別に設定する」を選択した場合、プロキシサーバの情報を「アドレス」「ポート」に入力します。
プロキシ認証	プロキシ認証を設定するかどうか選択します。 「する」を選択した場合、プロキシ認証用の情報を「アカウント名」「パスワード」に入力します。

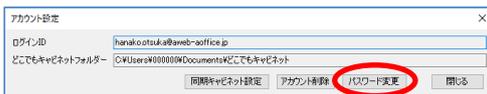
## パスワードを変更する

管理者によって設定されたパスワードは、利用者個人が変更できます。



- 1 タスクバーのどこでもキャビネットアイコンを右クリックし、「アカウント設定」からパスワードを変更したいアカウントを選択します。

アカウント設定画面が表示されます。



- 2 「パスワード変更」ボタンをクリックします。

パスワード変更

アカウントのパスワードを変更します。  
現在のパスワード、新しいパスワードを入力してください。

ログインID

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード (確認)

### 3 必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
新しいパスワード (確認)	再度、新しいパスワードを入力します。

どこでもキャビネット

**i** パスワードの変更が完了しました。

### 4 「OK」ボタンをクリックします。

アカウント設定

ログインID

どこでもキャビネットフォルダー

### 5 「閉じる」ボタンをクリックします。

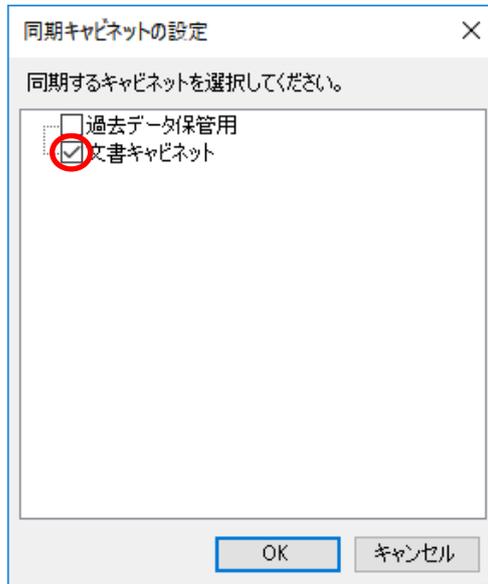
設定が有効になります。

## 同期キャビネットを変更する

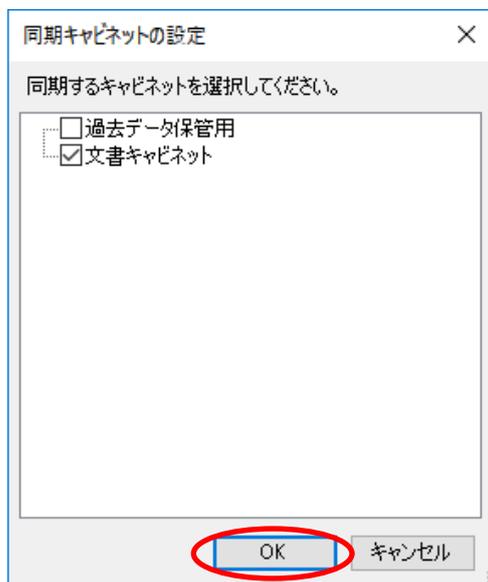
同期キャビネット設定で、どこキャビサーバーから同期するキャビネットを選択することができます。必要なキャビネットだけ表示させたい場合に便利です。



1 「同期キャビネット設定」をクリックします。



2 同期しているキャビネット一覧が表示されますので、不要なフォルダーのチェックを外してください。



3 「OK」ボタンをクリックします。

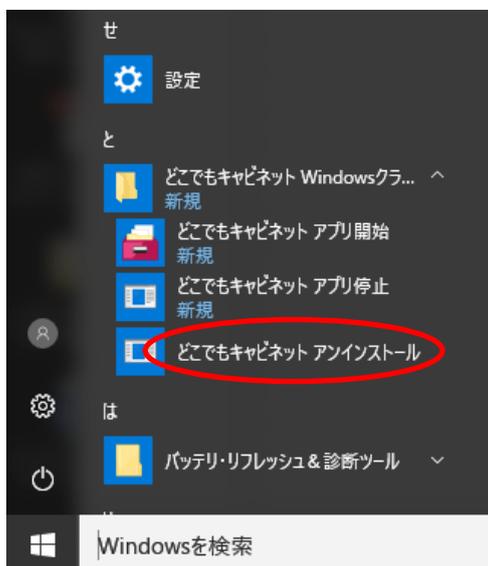
## アンインストールする

スタートメニューから、Windows クライアント版アプリのアンインストールを行います。

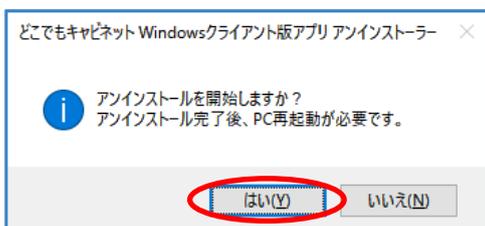
### 注意

アンインストール後に再起動が必要です。

他のアプリケーションで編集中のファイルがあれば、すべて閉じてから実施してください。



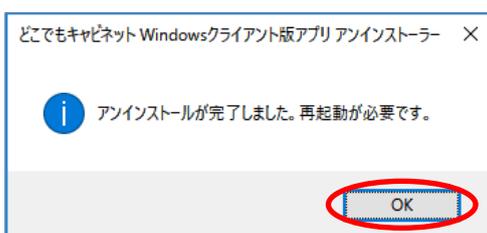
- 1 スタートメニューをクリックし、「どこでもキャビネット Windows クライアント版アプリ」から「どこでもキャビネット アンインストール」をクリックします。



- 2 「はい」ボタンをクリックします。

### 注意

他のアプリケーションで編集中のファイルがあれば、すべて閉じてから次の手順へ進んでください。



- 5 「OK」ボタンをクリックします。

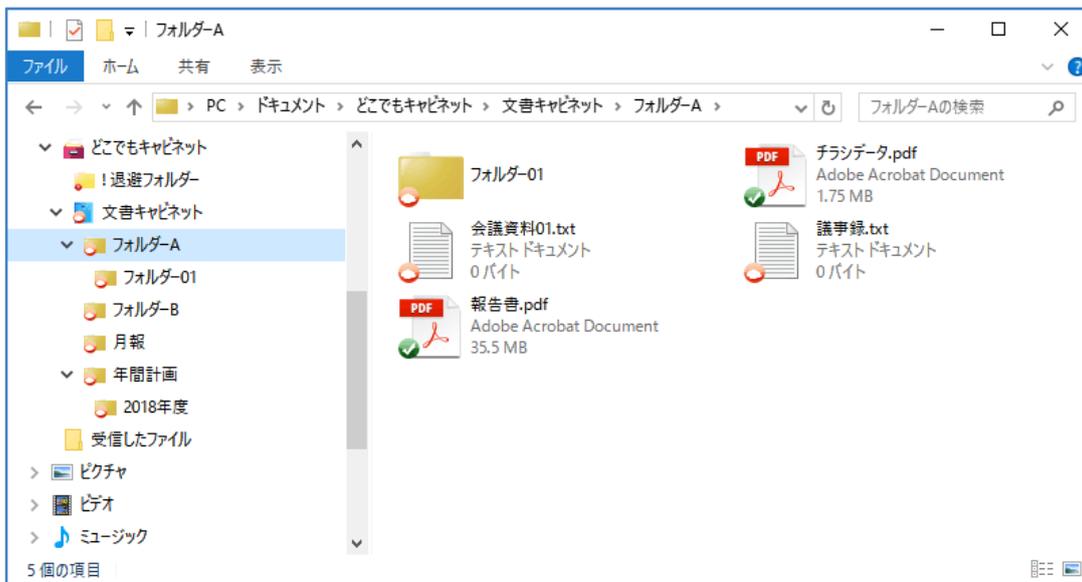
Windows の再起動が開始され、アンインストールが完了します。

## 基本操作

ここでは、Windows クライアント版アプリの基本的な操作方法について説明します。

### キャビネット・フォルダーの種類

Windows クライアント版アプリでは、管理者機能で作成されたキャビネットやファイルの状態を、表示されるアイコンで見分けることができます。



キャビネット・フォルダーのアイコン	
	どこでもキャビネットで利用できるキャビネットのトップです。 階層下に、どこでもキャビネットサーバーにあるキャビネットやフォルダー、ファイルが表示されます。
	管理者機能で作成されたキャビネットです。 キャビネットの名前変更や移動はできません。
	Windows クライアント版アプリやブラウザ版、iOS 版ビューワやスマートデバイス版等の利用者機能で作成されたフォルダーです。 フォルダーの名前変更や移動が可能です。
	Windows クライアント版アプリでアップロードに失敗したファイルを保存する退避フォルダーです。 登録権のないキャビネット・フォルダーにファイルをアップロードした場合、該当ファイルは退避フォルダーに保存されます。
ファイルのアイコン	
	お使いのパソコンに、ファイルの実体がコピーされた状態です。実ファイルサイズが表示されます。 詳しくは、「自動ダウンロードファイルとは」(P.12) を参照してください。
	どこでもキャビネットサーバー上にも実体がある、仮想状態のファイルです。ファイルサイズが「0 バイト」と表示されます。 詳しくは、「仮想ファイルとは」(P.12) を参照してください。
	どこでもキャビネットサーバーと通信して同期を行っている状態です。
	ファイルサイズが 0 バイト等でどこでもキャビネットサーバーにアップロードされていない「アップロード対象外」の状態です。

### ⚠ 注意:アイコンがイラストで表示されない場合

別のアプリケーションでアイコン(オーバーレイアイコン)を一定数利用していると、どこでもキャビネットのアイコンがイラストで表示されません。

## 仮想ファイルと自動ダウンロードファイル

### ■ 仮想ファイルとは

仮想ファイルとは、パソコン内に実体はなく、どこでもキャビネットのサーバー上に実体があるファイルのことです。ファイルサイズは、「0 バイト」と表示されます。

ファイルを開いたり、フォルダー移動したりする際に、実データをどこでもキャビネットサーバーからダウンロードして開くため、ネットワークに接続されていない場合はファイルやフォルダー内が表示されません。

※過去に1回も開いていないフォルダーをオフラインで開いた場合は、どこでもキャビネットのサーバーにデータがあっても、「このフォルダーは空です」と表示されて表示されません。

通常、どこでもキャビネット上のファイルは、すべて仮想ファイルとなります。

### ■ 自動ダウンロードファイルとは

自動ダウンロードファイルとは、パソコン上のフォルダーに、仮想ファイルの実体をダウンロードしたファイルのことです。ファイルサイズは、実ファイルサイズが表示されます。

ネットワークに接続されていない状態でご利用する場合は、自動ダウンロードファイルに設定してご利用ください。

パソコンの他のフォルダーやデスクトップなどにファイルをコピーしたい場合、ファイルを自動ダウンロードファイルにする必要があります。ファイルのダウンロード方法については、「ファイルをダウンロードする」(P.17)を参照してください。

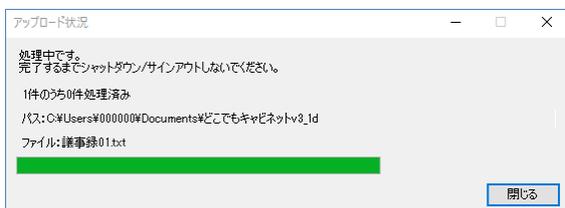
## 操作処理のアップロード状況

Windows クライアント版アプリ Ver3.1d より、以下対象操作の処理状況をお知らせするダイアログが画面右下に表示されます。処理が完了するまではシャットダウン/サインアウトしないでください。

※画面設定→「全体設定で設定できること」(P.32)

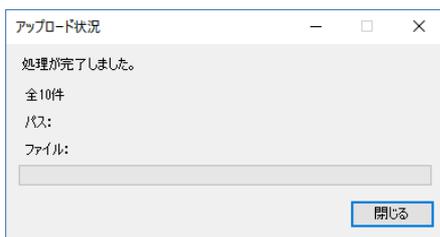
## 対象操作

### ■ 移動、コピー、削除、新規作成、ファイル内容の変更、フォルダー/ファイル名変更



### 1 アップロード処理中

※処理中のどこでもキャビネットアイコン



### 2 アップロード完了

## ファイルを参照する

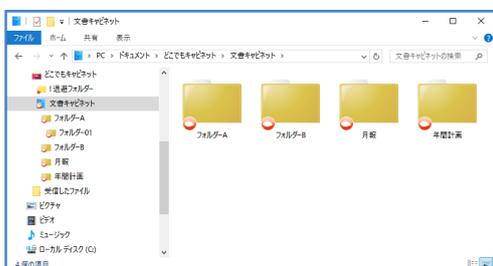
登録権または参照権のある、どこでもキャビネットの登録データを参照することができます。

### 注意:最新状態を参照するには

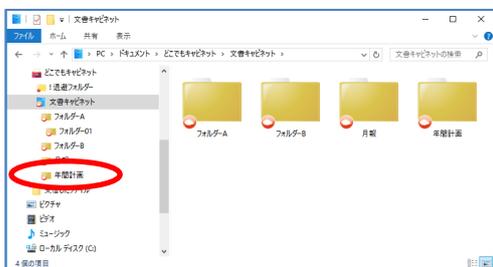
キャビネットやフォルダー移動時にどこでもキャビネットサーバーと通信を行い、最新の状態を表示します。  
また、現在開いているフォルダー内や自動ダウンロードに設定されているファイルは、移動しなくても 10 分に 1 回、どこでもキャビネットのサーバーと自動的に同期されます。  
キャビネットやフォルダーを移動した後、配下のファイル数が多いと最新状態がどこでもキャビネットサーバーに反映されるまでに数分程度かかる場合があります。

### ポイント:手動で最新状態を参照するには

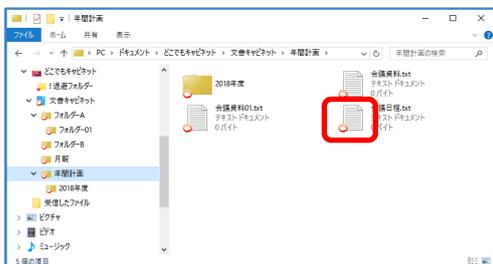
キャビネットやフォルダを選択して右クリックしたメニューに表示される「サーバーの最新状態をダウンロード」と「サーバーの最新状態を一括ダウンロード」を選択すると、手動でサーバーから最新の状況を取得することができます。  
配下のデータ数が多い場合に「サーバーの最新状態を一括ダウンロード」を実行すると時間がかかる場合がございますので、該当フォルダ直下のみを最新状態にする「サーバーの最新状態をダウンロード」のご利用を推奨します。



**1** 「どこでもキャビネット」と同期させたパソコン内のフォルダーを開きます。



**2** 参照するファイルが含まれているキャビネット・フォルダー(以降、フォルダーと表記)をクリックします。

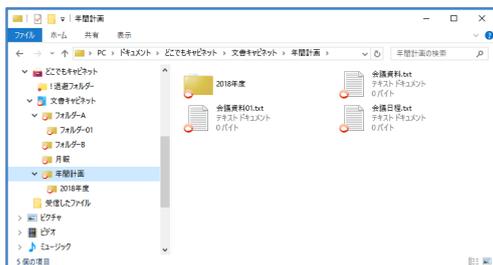


**3** 参照するファイルをダブルクリックします。

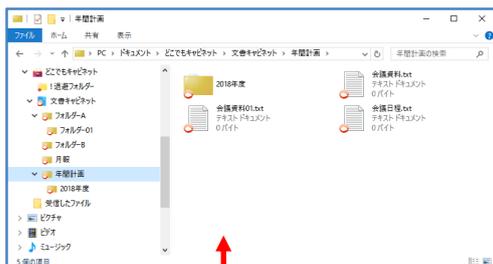
ファイルが開き、内容を参照することができます。

# ファイルをアップロードする

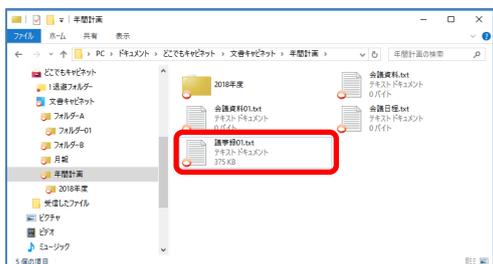
どこでもキャビネットへファイルをアップロードします。



1 アップロード先のフォルダーを開きます。



2 アップロードするファイルを、該当フォルダーにドラッグ&ドロップ(またはコピー)します。



3 該当ファイルが、どこでもキャビネットへアップロードされます。

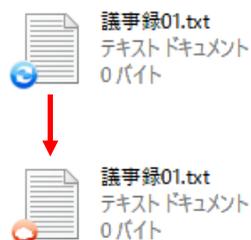
## 注意

フォルダーに追加したファイルは、約 10 秒後、どこでもキャビネットサーバーへアップロードされます。

## 注意

アップロード先のフォルダーの登録権がなくなった場合、エラーが表示され、どこでもキャビネットへアップロードされません。

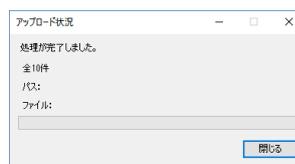
該当ファイルは、退避フォルダーに保存されます。



4 アップロードが完了します。

## 注意

アップロードが完了するまではシャットダウン/サインアウトしないでください。



実ファイルサイズが 0 バイトの場合など、どこでもキャビネットのサーバーにアップロードできない状態の場合、アップロード対象外となります。

### 👉 ポイント:フォルダー配下の更新状態を手動でアップロードするには

フォルダーに追加したファイルや更新したファイルは自動的にどこでもキャビネットサーバーへアップロードされますが、対象フォルダーを選択して右クリックしたメニューに表示される「更新を今すぐアップロード」を選択すると、選択したフォルダー配下のファイルの更新状態をチェックし、手動で更新情報をサーバーにアップロードすることができます。  
※本機能は、ファイルの新規登録だけでなく、削除や更新した内容も含めてアップロード(同期)されます。

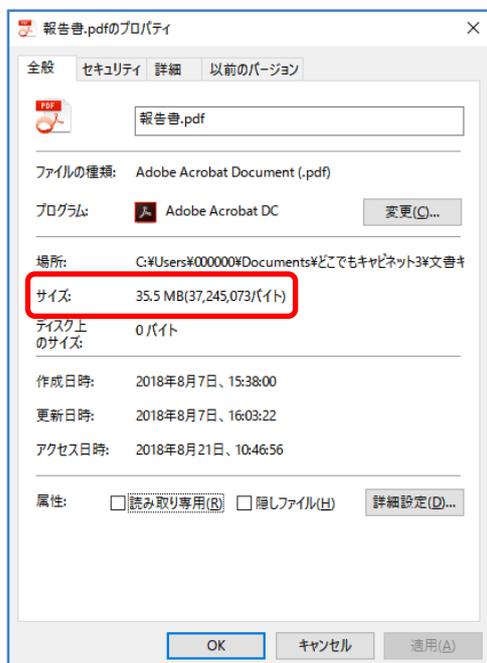
## 仮想ファイルのサイズを確認する

仮想ファイルのサイズは、次の手順で確認できます。



### 1 サイズを確認する仮想ファイルを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

プロパティ画面が表示されます。



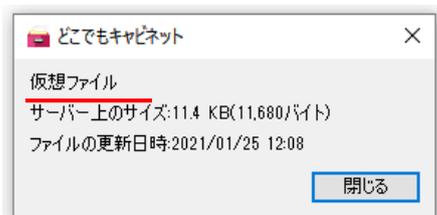
### 2 「サイズ」欄で、ファイルサイズを確認します。

※ キャッシュが残っている場合、ディスク上のサイズも表示されます。

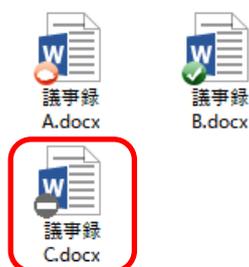
## ファイルの状態を確認する



- 1 ダウンロードするファイルが保存されているフォルダーを開きます対象ファイルを右クリックし、メニューから「状態を表示する」をクリックすることで、ファイルの状態を確認することができます。



- 2 対象ファイルの状態とサーバー上のサイズ、ファイルの更新日時を確認することができます。

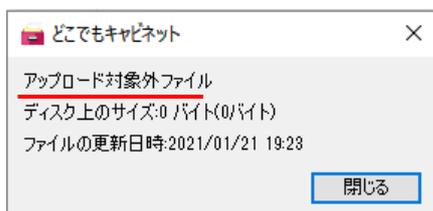


### アップロード対象外ファイルとは

ファイルのサイズが 0 バイトの場合など、どこでもキャビネットのサーバーにアップロードできない状態の場合、アップロード対象外アイコンが表示されています。

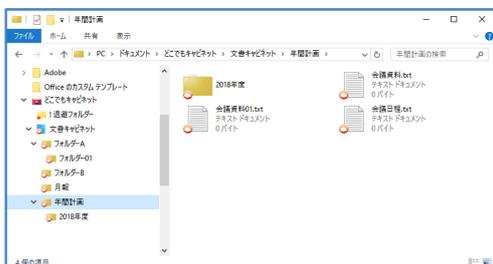
どこでもキャビネットのサーバーにアップロードされていない状態となります。

ファイル内容をご確認の上、ファイルにデータが含まれる形で上書き保存することで「アップロード対象外」の状態を解消することができます。

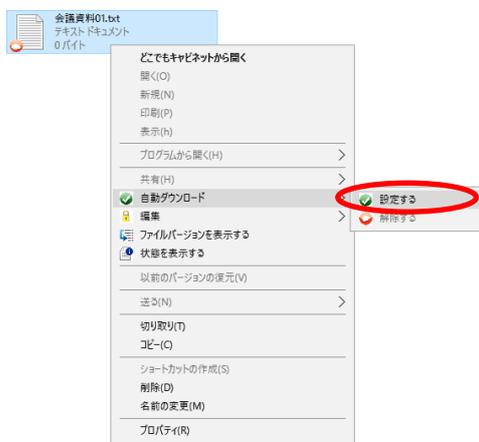


## ファイルをダウンロードする

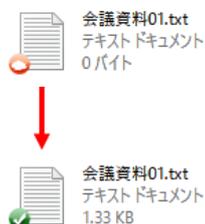
どこでもキャビネットサーバーにあるファイルの実体を、パソコンにダウンロードすることができます。フォルダー単位でダウンロードする場合、一括でダウンロードしてください。  
※操作方法→「フォルダーを一括でダウンロードする」(P.18)



**1** ダウンロードするファイルが保存されているフォルダーを開きます。



**2** ダウンロードするファイルを右クリックし、「自動ダウンロード」から「設定する」を選択します。

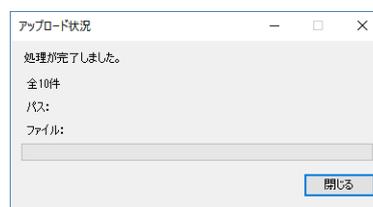


**3** パソコン上のフォルダーにファイルの実体がダウンロードされます。

実ファイルサイズが表示されるようになります。

### 注意

ダウンロードが完了するまではシャットダウン/サインアウトしないでください。



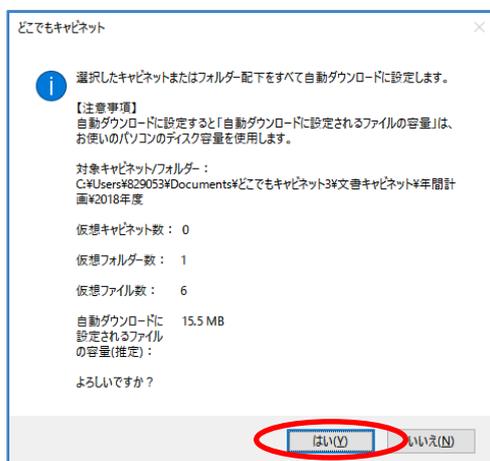
## フォルダーを一括でダウンロードする



1 一括でダウンロードするフォルダーを右クリックし、「一括自動ダウンロード」から「設定する」を選択します。

最新の情報をサーバーから取得後に、確認画面が表示されます。

※最新情報の取得に数分かかる場合があります。



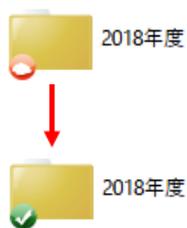
2 注意事項とデータ量を確認し、「はい」ボタンをクリックします。



自動ダウンロードに設定すると「自動ダウンロードに設定されるファイルの容量」は、お使いのパソコンのディスク容量を使用します。



3 一括ダウンロード設定が完了するとメッセージが表示され、ファイルが順次ダウンロードされます。



4 パソコン上のフォルダーにフォルダーの実体がダウンロードされます。

## ファイル内容の変更

ファイル内容を変更するには、以下の2つの方法があります。

- ・通常どおり、ファイル内容を変更する

※操作方法→「ファイル内容を変更する」(P.19)

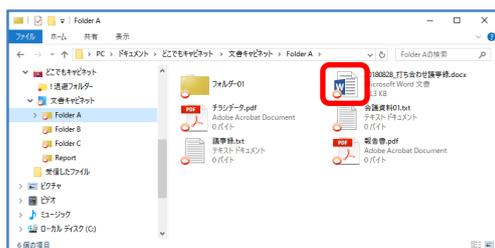
変更中に他のユーザーから変更させたくない場合は、編集機能を利用してください。

- ・編集機能を使って、ファイルの内容を変更する

※操作方法→「編集機能を使って、ファイル内容を変更する」(P.20)

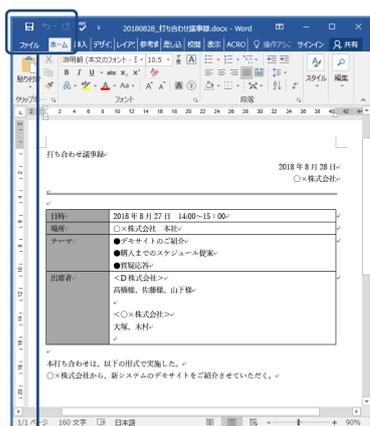
### ファイル内容を変更する

通常どおり、ファイル内容を変更する方法を説明します。



#### 1 内容を変更するファイルをダブルクリックします。

一時ファイルとして、仮想状態でダウンロードされたファイルが開きます。



#### 2 内容を変更した後、ファイルを上書き保存して閉じます。

##### ⚠ 注意

ファイルを上書き保存する際に他のユーザーとファイル更新が競合した場合、該当ファイルは「年月日時分秒 (YYMMDDhhmmss)」が付与され、別名でどこでもキャビネットへアップロードされます。

##### ⚠ 注意

アップロード先のフォルダーの登録権がなくなった場合、エラーが表示され、どこでもキャビネットへアップロードされません。該当ファイルは、退避フォルダーに保存されます。

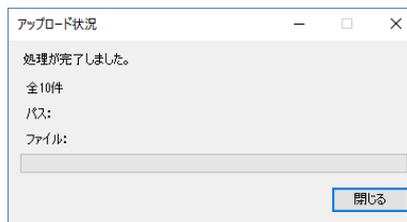




### 3 該当ファイルが、どこでもキャビネットへアップロードされます。

#### 注意

内容を変更したファイルは、変更終了の約 10 秒後、どこでもキャビネットサーバーへアップロードされます。アップロードが完了するまではシャットダウン/サインアウトしないでください。



#### ポイント

仮想ファイルの状態を変更した場合、実サイズに関係なく、ファイルサイズは「0 バイト」と表示されます。

#### ■ 競合ファイルとは

競合ファイルは、次のようなケースで発生します。

- ・ 同じファイルを複数のユーザーが変更し、先に他のユーザーが保存した場合
- ・ 変更中のファイルを他のユーザーが削除した場合



競合ファイルは、ファイル名に「年月日時分秒 ( \_YYYYMMDDhhmmss )」が付加され、別名でどこでもキャビネットにアップロードされます。

#### ポイント: 競合ファイルが発生した場合

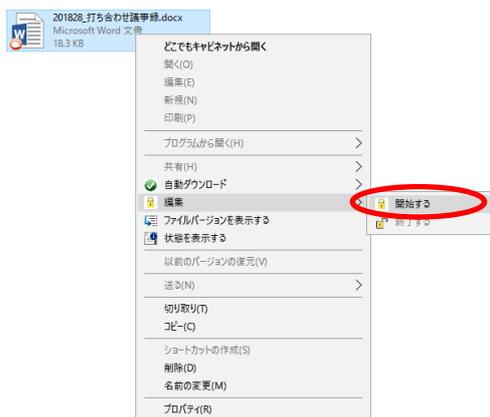
データ紛失を防ぐため、競合ファイルは年月日時分秒が付与され、別名で保存されてどこでもキャビネットへアップロードされます。

競合ファイルが発生した場合は、元のファイルとの内容をご確認の上、ファイル名を変更するか、元のファイルを改めて開いて変更し、上書き保存してください。

## 編集機能を使って、ファイル内容を変更する

Windows クライアント版アプリの編集機能を使って、ファイル内容を変更する方法を説明します。

編集機能を使って、「編集状態」にしたファイルは、他のユーザーからの上書き保存が禁止となるため、競合を防ぐことができます。

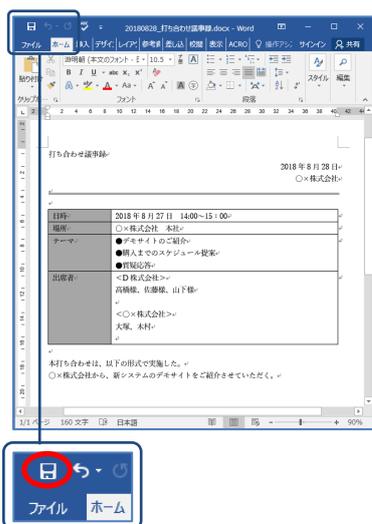


**1** 内容を変更するファイルを右クリックし、「編集」から「開始する」を選択します。

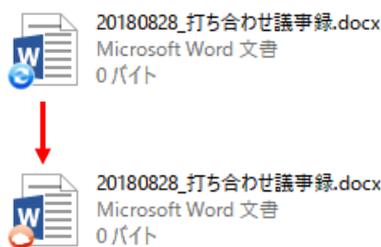
ファイルが編集状態となり、一時ファイルとしてダウンロードされたファイルが開きます。

**ポイント**

別ウィンドウで、編集中心ファイル一覧画面が表示されます。詳しくは、「編集中心ファイル一覧とは」(P.23)を参照してください。



**2** 内容を変更した後、ファイルを上書き保存して閉じます。



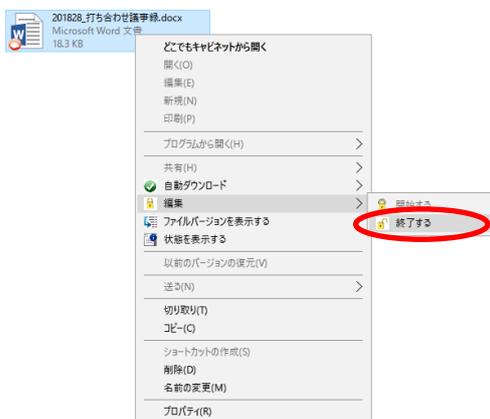
**3** 該当ファイルが、どこでもキャビネットへアップロードされます。

**注意**

内容を変更したファイルは、変更終了の約 10 秒後、どこでもキャビネットサーバーへアップロードされます。

**ポイント**

仮想ファイルの状態に変更した場合、実サイズに関わらず、ファイルサイズは「0 バイト」と表示されます。



**4** ファイルを右クリックし、「編集」から「終了する」を選択します。

**注意**

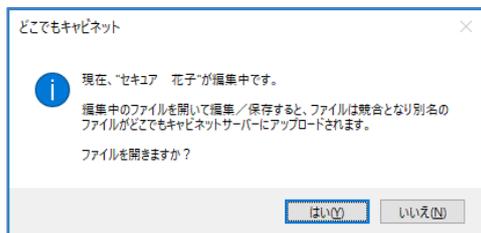
編集を終了しないと、他のユーザーが該当ファイルを変更できません。ご注意ください。

**ポイント**

編集中心ファイル一覧画面からも編集を終了することができます。詳しくは、「編集中心ファイル一覧とは」(P.23)を参照してください。

## ■ 編集状態とは

編集状態のファイルは、ロック状態となり、編集者以外は上書き保存できないようになっています。他のユーザーが編集状態のファイルを開くと、次のような画面が表示され、誰がそのファイルを編集中心であるかがわかります。

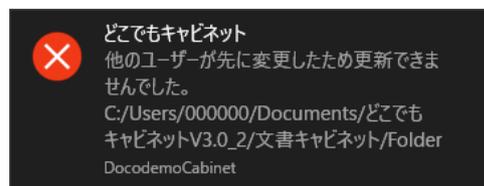


「はい」をクリックするとファイルは開きますが、編集者が編集中心のため、変更しても上書き保存できません。

### 注意:

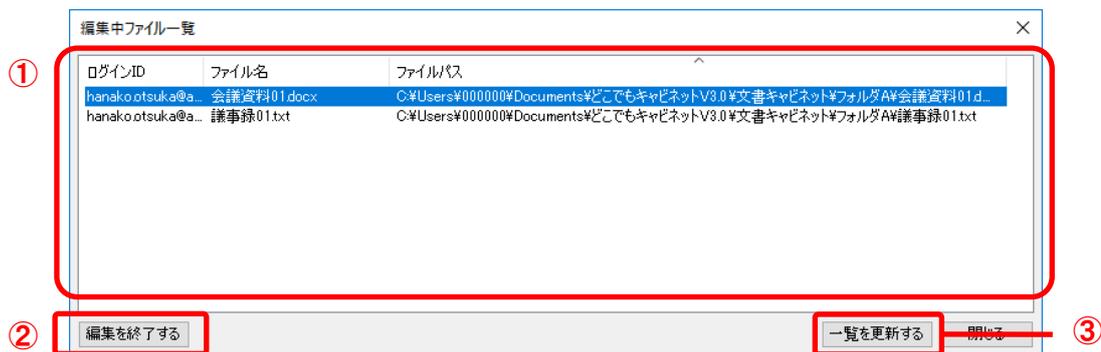
「はい」ボタンをクリックするとファイルは開きますが、編集中心のため、編集者以外の人には上書き保存ができず、アップロードエラーとなります。

該当ファイルは、データ紛失を防ぐために競合ファイルとして別名で保存されてどこでもキャビネットへアップロードされ、下記エラーが表示されます。



## ■ 編集中ファイル一覧とは

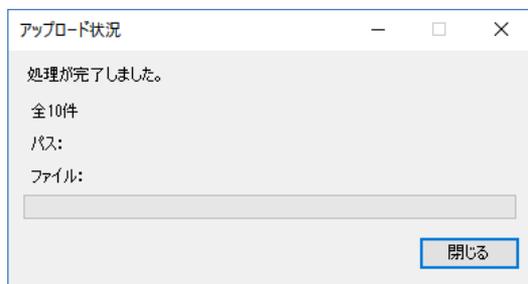
ファイルの編集を開始すると、編集中ファイル一覧画面が表示されます。一覧画面では、お使いのパソコンで編集状態となっているファイルが確認でき、編集を終了することもできます。



①	編集者のユーザーID、ファイル名、ファイルパスが表示されます。
②	ファイルを選択して「編集を終了する」ボタンをクリックすると、編集を終了することができます。
③	「一覧を更新する」ボタンをクリックすると、お使いのパソコンでの編集状態が更新されます。

## ファイルを削除する

ファイルの削除は、通常の操作方法と同じです。削除するファイルを右クリックし、「削除」を選択するなどして、削除してください。



処理中はアップロード状況ダイアログが表示されます。  
処理が完了するまではシャットダウン/サインアウトしないでください。

### ⚠ 注意: ファイルの削除

削除したファイルは、ごみ箱キャビネットに保存され、削除日より 60 日間以上経過するとごみ箱キャビネットから自動的に削除されます。Windows の「ごみ箱」には入りませんので、ご注意ください。

## ごみ箱からデータを取り出す

削除日より60日間以内であれば、ごみ箱キャビネットからデータを移動できます。

### 注意

- ・ 削除日より60日間以上経過すると、ごみ箱キャビネットから自動的に削除されます。
- ・ 変更履歴で削除した過去ファイルは、その時点で完全に削除されます。ごみ箱キャビネットには保存されません。

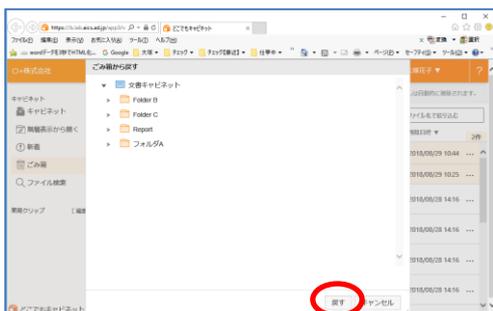


### 1 フォルダーを右クリックし、「ごみ箱を表示する」を選択します。

どこでもキャビネット(ブラウザ版)の画面が表示されます。



### 2 取り出すデータを選択し、「戻す」ボタンをクリックします。



### 3 戻す先のキャビネットを選択して「戻す」ボタンをクリックします。



### 4 正常に処理されると、左のような画面が表示されます。

## ごみ箱からデータをダウンロードする

削除日より 60 日間以内であれば、ごみ箱キャビネットからすべてのファイルをご利用のパソコンにダウンロードすることができます。

### 注意

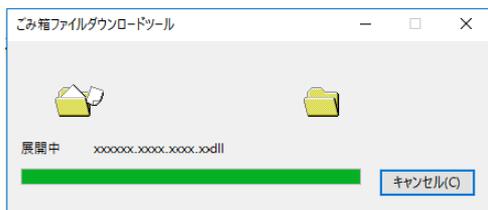
- ・ 削除日より 60 日間以上経過すると、ごみ箱キャビネットから自動的に削除されます。
- ・ 変更履歴で削除した過去ファイルは、その時点で完全に削除されます。ごみ箱キャビネットには保存されません。



1 スタートメニューをクリックし、「どこでもキャビネット Windows クライアント版アプリ」から「どこでもキャビネット ごみ箱ダウンロードツール」をクリックします。

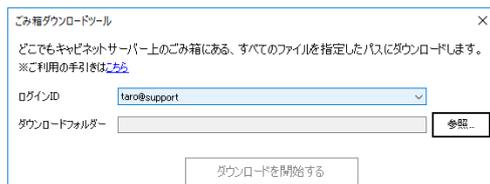


2 画面下部に「実行」または「保存」の確認画面が表示されます。「実行」をクリックして、ツールを起動してください。



3 ファイルが展開されます。

※左記のような画面が表示されます。4 の画面が表示されるまでお待ちください。

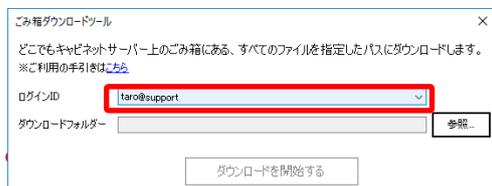


4 左記画面が表示されたら、ツール起動完了です。次のステップ「ごみ箱ファイルをダウンロードする」に進んでください。

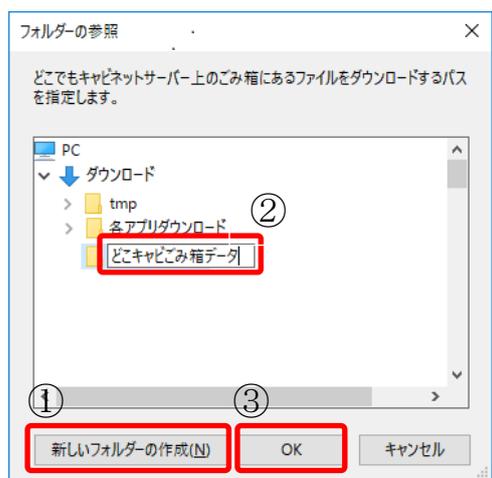
※「ログイン ID」にはお客様のパソコンに設定されている ID が表示されます。

## ごみ箱ファイルダウンロードツールのご利用方法

ごみ箱にあるすべてのファイルがローカルディスクにダウンロードされます。事前にダウンロードされるファイルサイズや数が表示されますので、必ずご確認の上、ダウンロードしてください。



1 ごみ箱ファイルをダウンロードしたいどこでもキャビネットのログイン ID を選択し、「参照」ボタンをクリックしてください。

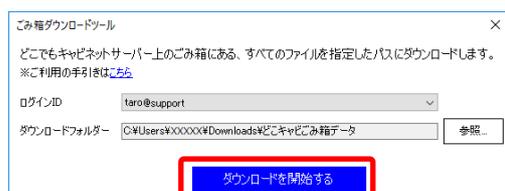
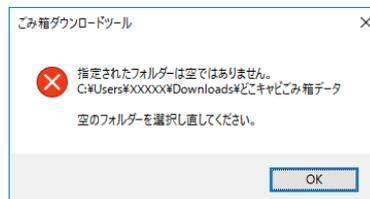


2 ダウンロードするファイルの保存先を選択します。

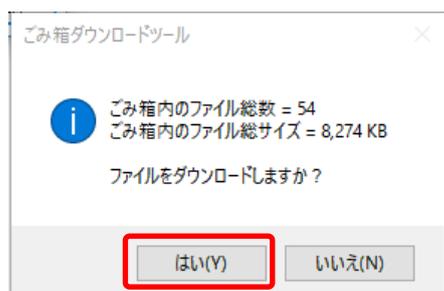
①「新しいフォルダの作成」をクリックし、②作成したフォルダに適当な名前を付け、③「OK」ボタンをクリックしてください。

### ⚠️ ご注意事項

選択したフォルダが空でない場合、下記のようなエラーが表示されます。新規フォルダをする等し、空のフォルダを選択してください。



3 「ダウンロードを開始する」ボタンをクリックします。



4 どこでもキャビネットサーバーと通信してごみ箱内の情報を取得し、今回のダウンロード対象のファイル数やサイズが表示されます。内容をご確認の上、「はい」をクリックしてください。

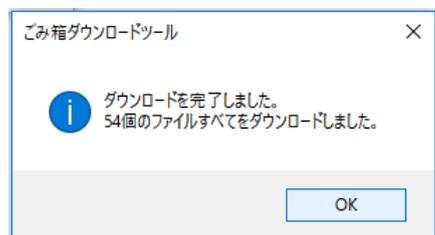
### ⚠️ ご注意事項

ダウンロード対象のファイル数やサイズをご確認し、ローカルディスクに十分な空き容量があることを確認してから、「はい」をクリックしてください。



## 5 ダウンロードが開始されます。

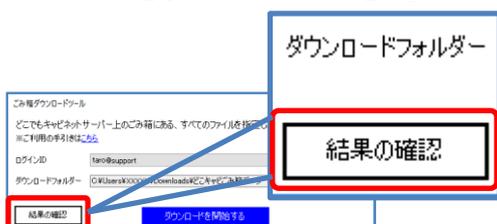
ダウンロード対象数やサイズが大きい場合は時間がかかりますので、手順 6 の画面が表示されるまでお待ちください。



## 6 左記画面が表示されたら、ダウンロード完了です。

## ダウンロード結果の確認方法

ダウンロードが完了すると「結果の確認」ボタンが表示されますので、こちらから結果を確認できます。



## 1 ダウンロードが完了すると「結果の確認」ボタンが表示されますので、こちらから結果を確認できます。

### ⚠ 注意

画面と閉じたり、ログイン ID を変更すると「結果の確認」ボタンは消えますので、ご注意ください。

## 変更履歴を確認する

### 注意

変更履歴は、ファイルの更新後、10日間保存されます。保存期限を過ぎると、自動的に削除されます。



### 1 変更履歴を確認するファイルを右クリックし、「ファイルバージョンを表示する」を選択します。

どこでもキャビネット(ブラウザ版)の画面が表示されます。



### 2 変更履歴を確認します。

ファイル名	過去のファイル名が表示されています。
復元	変更したファイルを、以前のファイルに戻します。
削除	過去のファイルを削除します。

### 注意

変更履歴で削除した過去ファイルは、その時点で完全に削除されます。ごみ箱キャビネットには保存されません。

削除日より 60 日間以内であれば、ごみ箱キャビネットからすべてのファイルをご利用のパソコンにダウンロードすることができます。

**注意**

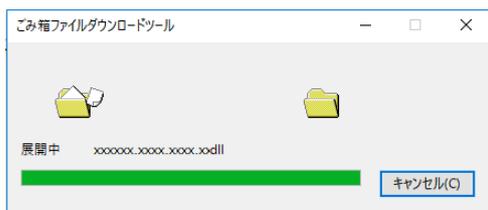
- ・ 削除日より 60 日間以上経過すると、ごみ箱キャビネットから自動的に削除されます。
- ・ 変更履歴で削除した過去ファイルは、その時点で完全に削除されます。ごみ箱キャビネットには保存されません。



**1** スタートメニューをクリックし、「どこでもキャビネット Windows クライアント版アプリ」から「どこでもキャビネット ごみ箱ダウンロードツール」をクリックします。

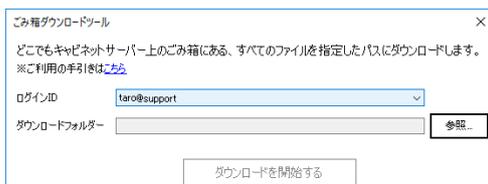


**2** 画面下部に「実行」または「保存」の確認画面が表示されます。「実行」をクリックして、ツールを起動してください。



**3** ファイルが展開されます。

※左記のような画面が表示されます。4 の画面が表示されるまでお待ちください。



**4** 左記画面が表示されたら、ツール起動完了です。次のステップ「ごみ箱ファイルをダウンロードする」に進んでください。

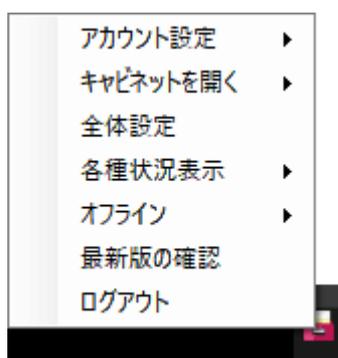
※「ログイン ID」にはお客様のパソコンに設定されている ID が表示されます。

## 知っておくと便利な機能

ここでは、Windows クライアント版アプリを使用するにあたって、知っておくと便利な機能を紹介します。

### どこでもキャビネットアイコンでできること

どこでもキャビネットアイコンを使って、次のような操作が可能です。タスクバーのどこでもキャビネットアイコンを右クリックし、操作項目を選択してください。



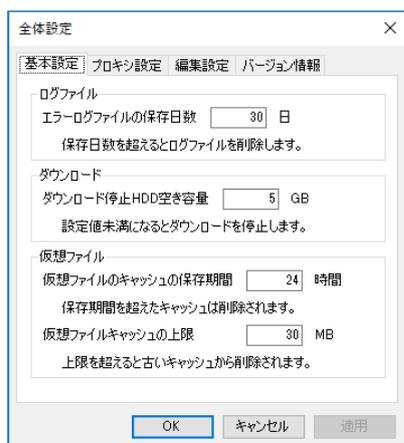
アカウント設定	どこでもキャビネットのアカウントを追加・削除することができます。また同期キャビネット設定とアカウントのパスワードを変更することができます。詳しくは「パスワードを変更する」(P.7)、「同期キャビネットを変更する」(P.9)を参照してください。
キャビネットを開く	ログイン ID を選択すると、選択したログイン ID のキャビネットが開きます。
全体設定	Windows クライアント版アプリの各種設定を行うことができます。詳しくは、「全体設定で設定できること」(P.32)を参照してください。
各種状況表示	【編集中心ファイル一覧】 編集状態のファイルを確認したり、編集を終了させたりすることができます。
	【自動ダウンロードファイル一覧】 自動ダウンロード設定しているファイルを確認したり、自動ダウンロードを解除したりすることができます。
	【エラーログ一覧】 Windows クライアント版アプリの使用中に発生したエラーや競合作成を確認することができます。
	【通信状況の表示】 アップロード、ダウンロード中に選択すると、アップロード、ダウンロード処理中のファイル数と状況が表示されます。
オフライン	「する」を選択すると、どこでもキャビネットサーバーとパソコン間の通信を停止します。オフラインにすると、どこでもキャビネットのアイコンがグレーになります。 ※オフライン時のどこでもキャビネットのアイコン  停止中は、「しない」が選択できるようになります。 オフラインで利用する場合、「する」を選択すると通信エラーのメッセージが表示されなくなります。
最新版の確認	Windows クライアント版アプリのアップデートがあるかどうか確認できます。
ログアウト	ログアウトします。

	次回、どこでもキャビネットフォルダーを参照する時、パスワード入力が必要となります。
--	---

## 全体設定で設定できること

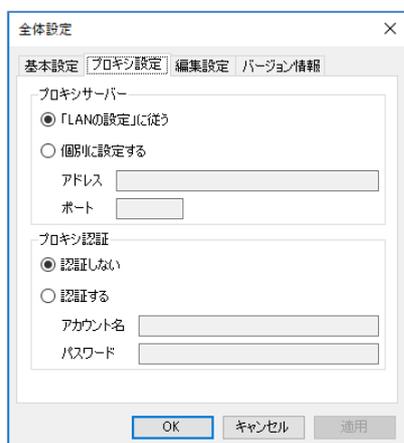
全体設定画面では、次のような項目を設定できます。

### ■「基本設定」タブ



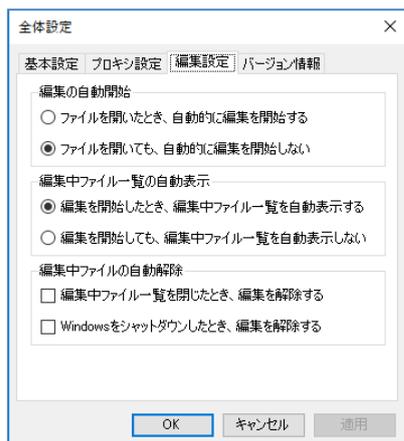
エラーログファイルの保存日数	エラーログファイルの保存期間を設定します。 保存期間を過ぎたエラーログファイルは、自動的に削除されます。 ※保存日数は最大 99 日です。
ダウンロード停止 HDD 空き容量	ダウンロードを停止する、パソコンのハードディスクの空き容量を設定します。 パソコンのハードディスクの空き容量が設定値未満になると、自動的にダウンロードが停止します。 ※空き容量は最大 99GB です。
仮想ファイルのキャッシュの保存期間	仮想ファイルのキャッシュの保存期間を設定します。 保存期間を過ぎた仮想ファイルのキャッシュは、自動的に削除されます。 ※保存期間は最大 720 時間です。
仮想ファイルキャッシュの上限	仮想ファイルのキャッシュの上限値を設定します。 仮想ファイルのキャッシュ合計量が設定値を超えると、古いキャッシュから削除されます。 ※上限値は最大 999MB となります。

### ■「プロキシ設定」タブ



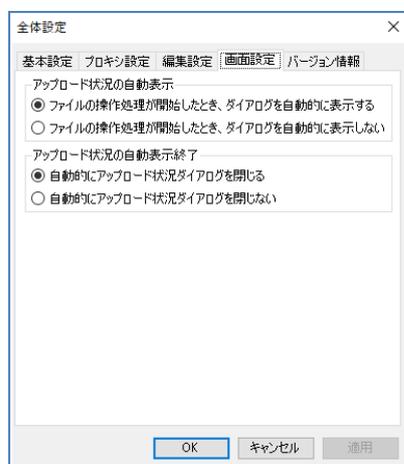
プロキシサーバー	プロキシの設定が必要な場合、設定します。
プロキシ認証	詳しくは、「プロキシ認証が必要な場合」(P.6)を参照してください。

## ■「編集設定」タブ



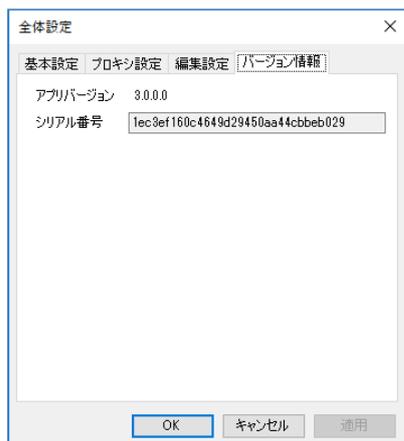
編集の自動開始	ファイルを開いたとき、自動的に編集を開始するかどうかを設定します。
編集中心ファイル一覧の自動表示	編集中心ファイル一覧を自動的に表示させるかどうかを設定します。 編集中心ファイル一覧については、「編集中心ファイル一覧とは」(P.23)を参照してください。
編集中心ファイルの自動解除	編集中心ファイルを自動的に解除させる場合、解除のタイミングをチェックします。

## ■「画面設定」タブ



アップロード状況の自動表示	ファイルの操作処理が開始したとき、ダイアログを自動的に表示するかどうかを設定します。
アップロード状況の自動表示終了	アップロードが完了したとき、ダイアログを自動的に閉じるかどうかを設定します。

## ■「バージョン情報」タブ



アプリバージョン	ご利用中のアプリのバージョンを確認することができます。
シリアル番号	ご利用中のアプリのシリアル番号を確認することができます。

※最新の「ご利用の手引き」はホームページをご覧ください。

<https://dococab.tayoreru.com/>